

決議

我々「医療現場の危機打開と再建をめざす国会議員連盟」は、産科分娩、小児医療、救急医療、外科手術、がん医療、地域医療をはじめ現下の医療現場の深刻な現状に鑑み、わが国の医療提供体制の崩壊を食い止め、その再建を図るため、「骨太方針」策定など今後の医療政策の立案に際し、次の事項の実現のため全力を尽くす。

一 「医学部定員の削減に取り組む」という従来の閣議決定を見直し、医学部定員を大幅に増加すること。

二 社会保障費の年間二千二百億円の削減方針を見直し、必要な医療予算を充分確保すること。

三 「わが国の医療現場は、あらゆる人々の理解と協力によって支えていかねばならない」との意識を国民全体に涵養すること。

四 勤務医の就業環境と待遇の改善に取り組む病院、医育機関、自治体、団体等への支援を抜本的に拡充すること。

平成二十年六月十一日

医療現場の危機打開と再建をめざす国会議員連盟



会長

尾辻秀久

幹事長

鈴木 寛

会長代理

仙谷由人

幹事長代理 兼

副会長

坂口 力

事務局長

世耕弘成

副会長

塩崎恭久

副幹事長

西田実仁

幹事

小池 晃

阿部 知子

自見庄三郎

田中 康夫

事務局次長

萩生田光一

足立信也

